

工 事 設 計 書					
施 行 年 度	令和元年度	契 約 番 号		伊賀市	
		2019001017			
工 事 名	守田取水塔撤去工事				
施 工 場 所	伊賀市	守田町	地 内	課長	係長
工 種				設計者	検算者
設 計 金 額	円 内消費税相当額 円				
工 期	令和2年3月13日 まで				
工 事 の 大 要				起 工 理 由	
守田取水塔撤去工事 取水塔撤去 進入路工 1 式 撤去工 1 式				別 紙 の と お り	

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
守田取水塔撤去工事				式				
					1.000			
取水塔撤去				式				
					1.000			
進入路工				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
撤去工				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
復旧工				式				第 0003 号 明細表
					1.000			
沈砂池工				式				第 0004 号 明細表
					1.000			
直接工事費計				式				
					1.000			
間接工事費								

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	共通仮設費							
	共通仮設費（率計上額）			式				
					1.000			
共通仮設費計				式				
					1.000			
純工事費				式				
					1.000			
現場管理費				式				
					1.000			
工事原価				式				
					1.000			
一般管理費等				式				
					1.000			
工事価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費計				式				
					1.000			

第 0001 号 明細表 進入路工					1 式
					(上段 : 前回 下段 : 今回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
山土 盛土用（現場渡し）	m3				
		80.000			
盛土工 購入土	m3				CB210520(0001)
		80.000			
敷砂利設置 RC-40 t=10cm	m2				CB221110(0002)
		230.000			
合 計					

第 0002 号 明細表 撤去工					1 式
					(上段 : 前回 下段 : 今回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
無筋コンクリート	式				第0001号単価表
		1.000			
鉄筋コンクリート	式				第0002号単価表
		1.000			
撤去土工	式				第0003号単価表
		1.000			

第 0002 号 明細表 撤去工					1 式
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ、水管橋、電気設備等	式				第0006号単価表
		1.000			
導水管DCPΦ400刃型管栓帽設置工	箇所				第0007号単価表
		1.000			
合 計					

第 0003 号 明細表 復旧工					1 式
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
盛土撤去 土砂	m3				CB210030(0009)
		80.000			
敷砂利撤去 土砂	m3				CB210030(0010)
		23.000			
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 8 km	m3				第0003号施工単価表
		103.000			
じゃかご(施工パッケージ) 設置 網目 13直径45用線4.0 3種 (GS-3)	m				CB225010(0012)
		1,343.000			

第 0003 号 明細表 復旧工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計						

第 0004 号 明細表 沈砂池工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型土のう工 製作・設置 流用土 大型土のう		袋				第0004号施工単価表
			44.000			
大型土のう工 撤去		袋				第0005号施工単価表
			44.000			
現場発生品運搬		回				第0008号単価表
建設廃材受入料金		m3				
			2.000			
コルゲートパイプ(施工パッケージ) 据付・撤去 フラジ型 円形 内径600mm 材厚1.6mm		m				CB222890(0013)
			16.000			
合 計						

殻運搬(施工パッケージ) コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 7.5 km					第 0001 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬(施工パッケージ) コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし	m3	1.000			CB227010(0004)
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

メカニカル特殊継手工 径400mm U、UF、LUF、US形以外					第 0002 号 施工単価表 1.000 口 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式	1.000			

メカニカル特殊継手工 径400mm U、UF、LUF、US形以外					第 0002 号 施工単価表 1.000 口 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000	当り			

土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 8 km					第 0003 号 施工単価表 1.000 m3 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1.000			CB210110(0011)	
合計	m3	1.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

大型土のう工 製作・設置 流用土 大型土のう				第 0004 号 施工単価表 10.000 袋 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
大型土のう φ 110cm(丸型)×108cm	袋	10.000				
バックホウ運転費(賃料)【基準】	日				第0001号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	袋	10.000				

大型土のう工 製作・設置 流用土 大型土のう				第 0004 号 施工単価表 10.000 袋 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	袋	1.000	当り		

大型土のう工 撤去				第 0005 号 施工単価表 10.000 袋 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
バックホウ運転費(賃料)【基準】	日				第0002号運転単価表
諸雑費	式	1.000			
合計	袋	10.000			

大型土のう工 撤去			第 0005 号 施工単価表 10.000 袋 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	袋	1.000	当り		

SJ0010 無筋コンクリート				第 0001 号単価表	
				1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工					
無筋構造物、時間的制約 無、機械施工、機 労 昼間	m3	14.000			
積込（コンクリート殻）（施工パッケージ）	m3	14.000			CB224260(0003)
殻運搬（施工パッケージ）					
コンクリート（無筋・鉄筋）構造物とりこわし 7.5 km	m3	14.000			第0001号施工単価表
建設廃棄物受入れ料金（無筋Con塊）	m3	14.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0020 鉄筋コンクリート		第 0002 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 鉄筋構造物、時間的制約 無、機械施工、機 労 昼間	m3	353.000			
積込（コンクリート殻）（施工パッケージ）	m3	353.000			CB224260(0003)
殻運搬（施工パッケージ） コンクリート（無筋・鉄筋）構造物とりこわし 7.5 km	m3	353.000			第0001号施工単価表
建設廃棄物受入れ料金（鉄筋Con塊）	m3	353.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0030 撤去土工		第 0003 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ふとん簀	式	1.000			第0004号単価表
蛇簀	式	1.000			第0005号単価表
掘削(施工パッケージ) 土砂 オープンカット 押土無し	m3	2,100.000			CB210100(0007)
埋戻し(施工パッケージ)	m3	2,500.000			CB210410(0008)
掘削(施工パッケージ) 土砂 オープンカット 押土無し	m3	440.000			CB210100(0007) 不足土 (在来土)
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0031 ふとん簗					第 0004 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り(施工パッケージ) 岩塊・玉石	m3	440.000			CB210030(0005)	
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0032 蛇簗					第 0005 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
掘削(施工パッケージ) 岩塊・玉石 オープンカット 押土無し	m3	210.000			CB210100(0006)	
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0040 ポンプ、水管橋、電気設備等		第 0006 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水管橋撤去工（付帯鋼構造物全て）	式	1.000			
取水塔内部配管等撤去工（付帯鋼構造物全て）	式	1.000			
処分費（水管橋及び配管等の鋼構造物全て）	式	1.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0050 導水管DCPΦ400K型管栓帽設置工		第 0007 号単価表 1 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
DCPΦ400K型管栓帽	個	1.000			
DCPΦ400半数特殊押輪フッソボールナットK型ゴム輪セット	個	1.000			
メカニカル特殊継手工 径400mm U、UF、LUF、US形以外	口	1.000			第0002号施工単価表
合 計	箇所	1.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

SJ0060 現場発生品運搬		第 0008 号単価表 1 回 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運転費	時間				第0003号運転単価表
合 計	回	1.000			
単位当り	回	1.000	当り		

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB210520(0001)	盛土工	m3				
CB221110(0002)	敷砂利設置	m2			砕石の厚さ	7.5cmを超え12.5cm以下
					砕石の種類	再生クワッシャー 40～0
					小型車割増	小型車割増無し
CB224260(0003)	積込（コンクリート殻）（施工パッケージ）	m3				
CB227010(0004)	殻運搬（施工パッケージ）	m3			殻発生作業	コンクリート（無筋・鉄筋）構造物とりこわし
CB210030(0005)	床掘り（施工パッケージ）	m3			土質	岩塊・玉石
CB210100(0006)	掘削（施工パッケージ）	m3			土質	岩塊・玉石
					施工方法	オープンカット
					押土の有無	押土無し
CB210100(0007)	掘削（施工パッケージ）	m3			土質	土砂
					施工方法	オープンカット
					押土の有無	押土無し
CB210410(0008)	埋戻し（施工パッケージ）	m3				

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB210030(0009)	盛土撤去	m3			土質	土砂
CB210030(0010)	敷砂利撤去	m3			土質	土砂
CB210110(0011)	土砂等運搬(施工パッケージ)	m3			土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
CB225010(0012)	じゃかご(施工パッケージ)	m			作業区分	設置
					じゃかご使用材料規格	網目 13直径45用線4.0
					めっき規格	3種 (GS-3)
CB222890(0013)	コルゲートパイプ(施工パッケージ)	m			作業区分	据付・撤去
					規格	フランジ型
					型式	円形
					コルゲートパイプ 使用材料規格 内径(mm)	内径600mm
					材厚(mm)	材厚1.6mm

バックホウ運転費(賃料)【基準】					第 0001 号 運転単価表
					1.000 日 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
バックホウ賃料 排ガス型	供用日				
諸雑費	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

バックホウ運転費(賃料)【基準】					第 0002 号 運転単価表
					1.000 日 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
バックホウ賃料 排ガス型	供用日				
諸雑費	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

トラック運転費					第 0003 号 運転単価表 1.000 時間 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
トラック機械損料	時間				第0004号運転単価表
諸雑費	式	1.000			
合計	時間	1.000			
単位当り	時間	1.000	当り		

トラック機械損料					第 0004 号 運転単価表
					1.000 時間 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック機械損料[13欄]	時間				
合計	時間	1.000			
単位当り	時間	1.000	当り		

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	☒ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：一般国道365号（大内拡幅）道路改良（大内橋下部工）工事（三重県））	☒ 調整項目（ ☐ 資材等の流用 ☒ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☒ 施工順序の調整 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☒ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☒ 制限する工種名（河川内工事） 施工時期及び施工時間（河川内工事については、令和元年11月1日～令和2年3月13日までとする。 施工方法（ ） なお、関係機関及び監督員の承諾が得られた場合は、この限りではない。）
	☒ 他機関との協議が未完了	☒ 協議が必要な機関名（木津川上流河川事務所、伊賀川漁業協同組合） 協議完了見込み時期（令和元年10月末 ）
	☐ 占用物件との工程調整の必要あり	☐ 占用物件名（ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☒ 下水道 ☐ ガス ☐ その他（ ））
	☒ その他（工程管理及び施工 ）	☒ その他（河川内工事については、大雨等の気象条件に留意した工程管理及び施工を行うこと。 ）
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり	☐ 未処理箇所（ ☐ 別添図 ☐ No. ～No. ☐ 別途協議（ ）
	☐ 仮設ヤードの有無	☐ 完了見込み時期（ ☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議（ ） ☐ 仮設ヤード（ ☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 仮設ヤード使用期間（ ） ☐ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km） ☐ 使用条件・復旧方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり	☒ 制限項目（ ☒ 騒音 ☒ 振動 ☒ 水質 ☒ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他（ ）） ☐ 施工方法等（ ☐ 指定工法名（ ） ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 施工時期（ ）
	☐ 事業損失防止に関する調査あり	☐ 調査項目（ ☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前・事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☐ 地下水位等の測定 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 調査方法（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☒ その他（道路の汚損について ）	☒ その他（ダンプトラック等が工事現場から出る際は、道路を汚さないよう注意を払うこと。汚した場合は直ちに清掃作業を行うこと。）
安全対策関係	☐ 交通安全施設等の指定あり	☐ 交通安全施設等の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 交通誘導警備員の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 指定路線 ☐ 指定路線以外 ☐ ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 人 B： 人 （注：指定路線以外で交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、 本市 が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により 本市 の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。
	☐ 近接施設等に対する制限	☐ 既存施設あり ・近接公共施設（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☒ 下水道 ☐ ガス ☐ その他（ ）） ・近接施設（ ☐ 擁壁（ ） ☐ ブロック塀 ☐ 家屋 ☐ その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市

令和元年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	☐ 安全防護施設等の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 保安要員の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☒ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☒ その他（交通安全について ）	☒ その他（施工範囲及び資材・土砂等運搬ルートにおいて地元車両に配慮することとし、地元車両を優先すること等を徹底すること。）
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 使用中及び使用後の措置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 用地及び構造（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 安全施設（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☒ その他（盛土材について ）	☒ その他（進入路工の盛土材は、購入土を用いることとしているが、他工事との調整結果等により工事間流用等が可能となった場合は、変更契約の対象とする。）
仮設備関係	☒ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 転用あり（ ）回 ☒ 兼用あり（仮設道路を関連工事と兼用することから、工事連絡会議を実施するなどし、業者間で綿密な工程調整を行い、円滑に工事施工ができるよう互いに協力すること。） ☐ その他（ ）
	☐ 水替工（縮切排水工）	☐ 施工条件の指定なし ☐ 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要性が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、 本市 が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により 本市 の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他（ ）
	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 施工方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
残土・産業廃棄物関係	☐ 残土処分（自由処分）	☐ 残土処分地（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 運搬距離（L＝ ）
	☐ 残土処分（指定処分・他工事流用）	☐ 処分地の処理条件あり（ ☐ 押土整地 ☐ その他（ ））
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類（ ☒ コン塊 ☐ アス塊 ☐ 木材 ☐ 汚泥 ☒ その他（廃ブラ）） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ） ☐ 最終処分場（ ） ☐ 別添図書 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ）
	☐ その他（ ）	☐ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 ☐ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 ☐ その他（ ）

伊賀市

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

令和元年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.3

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 事 支 障 物 件 関 係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名 （ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☒ 下水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他（ ） ☐ 移設時期 （ ☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議） ☐ 防護 （ ）
	☒ その他（既設構造物について ）	☒ その他（進入路や施工範囲の上下流等の既設構造物に汚損が生じないよう注意を払うこととし、注意を怠り汚損した場合は、受注者の責により原形復旧するものとし、契約変更の対象としない。）
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） ☐ 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ） ☐ 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	☐ 提出書類あり	
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類（ ☐ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂 ） ☒ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更 ☐ その他（ ） ☒ 別途協議 ）
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 （認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☐ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☐ 上層路盤材 ☐ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他（ ）） ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
そ の 他	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	☐ 現場発生品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	☐ 支給品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） 時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 運搬方法（ ☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）） ☐ 引渡場所（ ☐ 別添図等 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）） 数量（ ） 運搬距離（L＝ km）
	☐ 現場環境改善費適用工事	☐ 現場環境改善の内容（率分）（ ） ☐ 現場環境改善の内容（積上）（ ）
	☒ その他（濁水、湧水の排水）	☒ その他（締切排水に伴う濁水は、沈砂池を通過させて放流すること。）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市

令和元年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.4

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
適 用 条 件	☒ 適用条件	☒ 三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月版）を適用（部分改正を行った内容も含む（最新改正：令和元年7月1日）） ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 ☐ 契約後のVE提案に関する特記仕様書 平成 年 月 日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」 試行対象工事に係る特記仕様書 平成28年7月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「工事監理連絡会」実施対象工事に係る特記仕様書 平成30年7月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ※設計図書の照査完了後、実施について監督員と協議すること。 ☐ 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているので、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者： ☒ 設計変更（工事一時中止）を行う際には、 伊賀市設計変更ガイドライン（平成30年6月） を参考とする。 ☒ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照 ） ☒ その他（ 伊賀市が定めてないものについては、三重県を参照し伊賀市と読み替え適用する。 ）
監督の区分 （共通仕様書第1編第1章1-1-22条第6項に規定する表1-2、表1-3）	☒ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	☐ 重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
入札・契約方式	☐ 入札時VE方式 ☐ 契約後VE方式 ☐ 設計・施行一括発注方式 ☐ プロポーザル方式 ☐ 総合評価方式	☐ 契約前のVE提案に基づき施工しなければならない。 ☐ 契約後にVE提案を受け付ける。 ☐ 細部設計の承認を受けなければならない。 ☐ 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市

令和元年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.5

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
産業廃棄物税	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
工事カルテ作成・登録	☒ 工事カルテ作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、工事カルテ作成・登録を行うこと。
建設副産物情報交換システム	☒ 建設副産物情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システム（副産物システム、発生土システム）にデータを入力すること。
下請関係 下請企業 次数制限	☒ 下請企業の次数制限	☒ 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
市内企業 優先使用	☒ 市内企業の優先使用	☒ 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を伊賀市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。
県内産製品 優先使用	☒ 建設資材の県内産製品優先使用	☒ 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。 ☒ 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
不当介入を 受けた場合の 措置	☒ 不当介入を受けた場合の措置	☒ 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第11号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
工事实態調査	☒ 工事实態調査	☒ 伊賀市低入札価格調査試行要領第3条で定める調査基準に満たない額で契約し、発注者より工事实態調査の指示があった場合又は、同実施要領で定める重点調査を経て契約した場合は、工事实態調査に協力すること。
社会保険等未加入 対策	☒ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☒ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市

令和元年7月

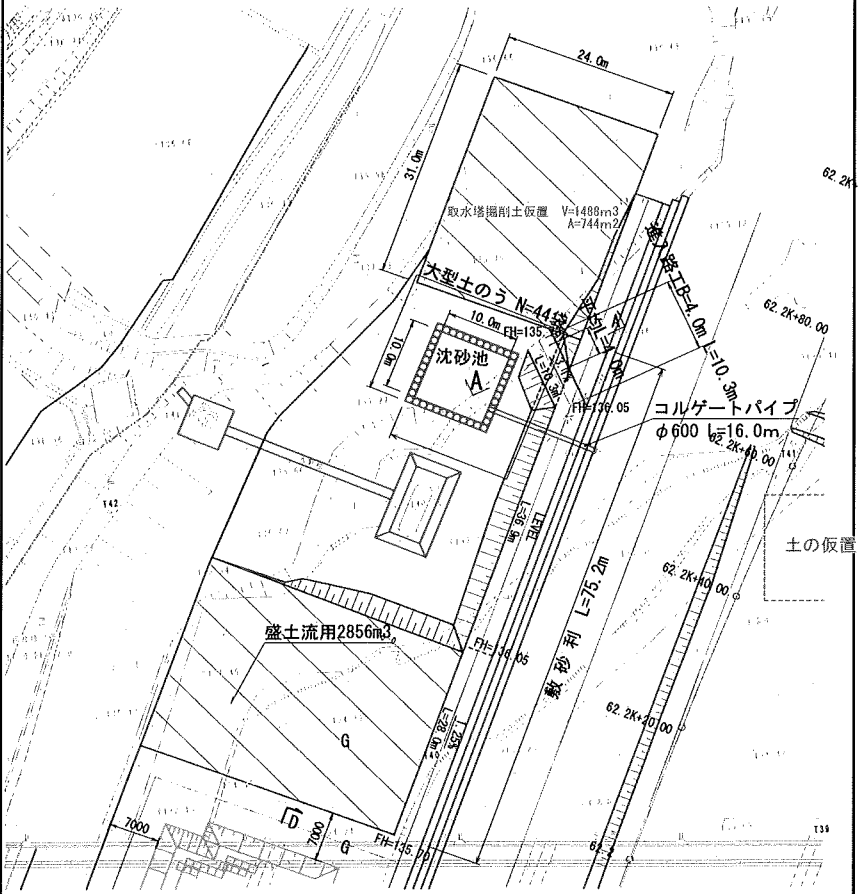
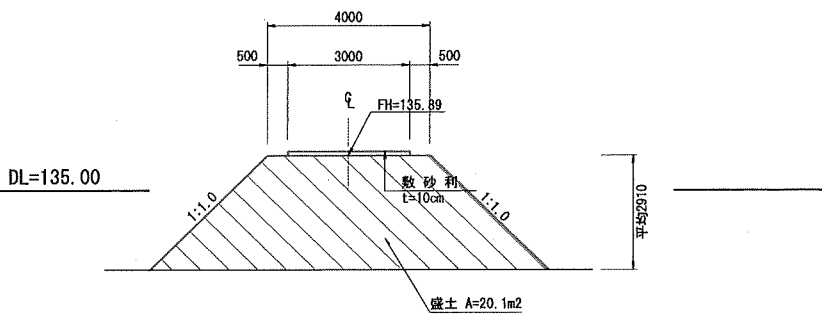
守田取水塔撤去工事特記仕様書

- 1、取水塔内部のポンプ設備3台は、再利用するため丁寧に配管から取外し、伊賀市上下水道部が管理する市内の指定倉庫へ運搬すること。
- 2、水管橋撤去工および取水塔内部配管等撤去工の対象範囲は、水管橋、取水塔内外部配管、手摺、制御盤、開閉台など取水塔及び橋脚に付属する鋼構造物全てとする。
- 3、2、の範囲の大部分を占める水管橋は、腐食を防ぐため粘土ペースト状の防食材を塗り、その上からビニルテープとペトラタムテープを巻き付け、その後に塗装している。
そのため廃棄物として処分業者へ搬入する価格を処分費として計上している。

1.0式当り

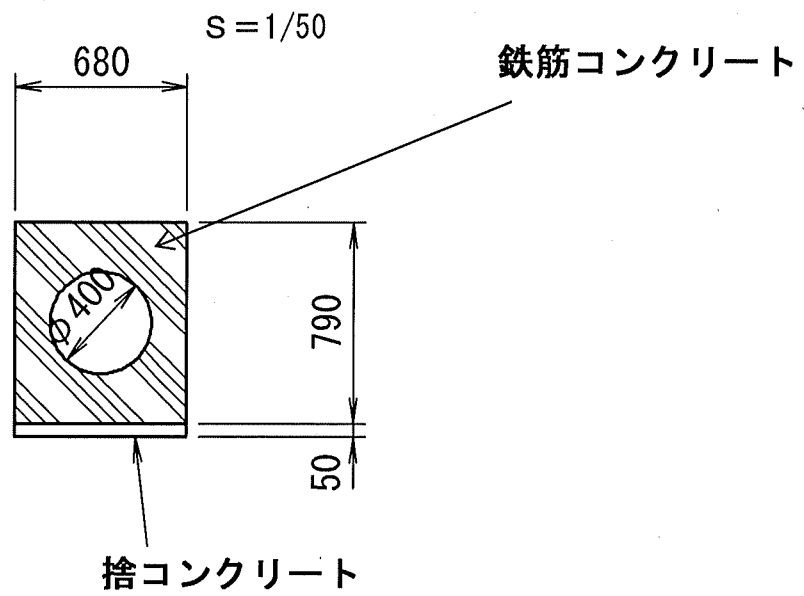
[illegible]

進入路工数量計算書

名 称	計 算 式	数 量
盛土設置	$V = 20.1 \times 4.0$	$= 80.4 \text{ m}^3$
敷砂利設置 t=100mm	$A = 3.00 \times 75.2$	$= 225.6 \text{ m}^2$
 Plan view details: 取水場掘削土仮置 (V=1488m³, A=744m²), 大型土のう N=44 (10.0m FH=135.89), 沈砂池 A, コルゲートパイプ φ600 L=16.0m, 盛土流用2856m³, 敷砂利 L=75.2m, 土の仮置, 62.2K+100.00, 62.2K+80.00, 62.2K+40.00, 7000, 7000, FH=135.89, T39. 断面 A - A  Cross-section details: 4000 (top width), 500 (shoulder), 3000 (road width), 500 (shoulder), FH=135.89, DL=135.00, 敷砂利 t=100mm, 盛土 A=20.1m², 1:1.0 (slope), 0.15/25.0 (vertical scale).		

[illegible][illegible]

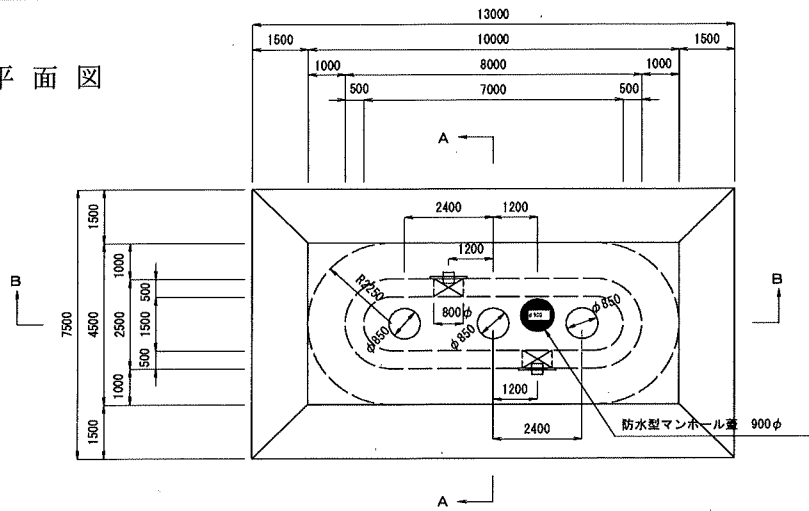
断面図



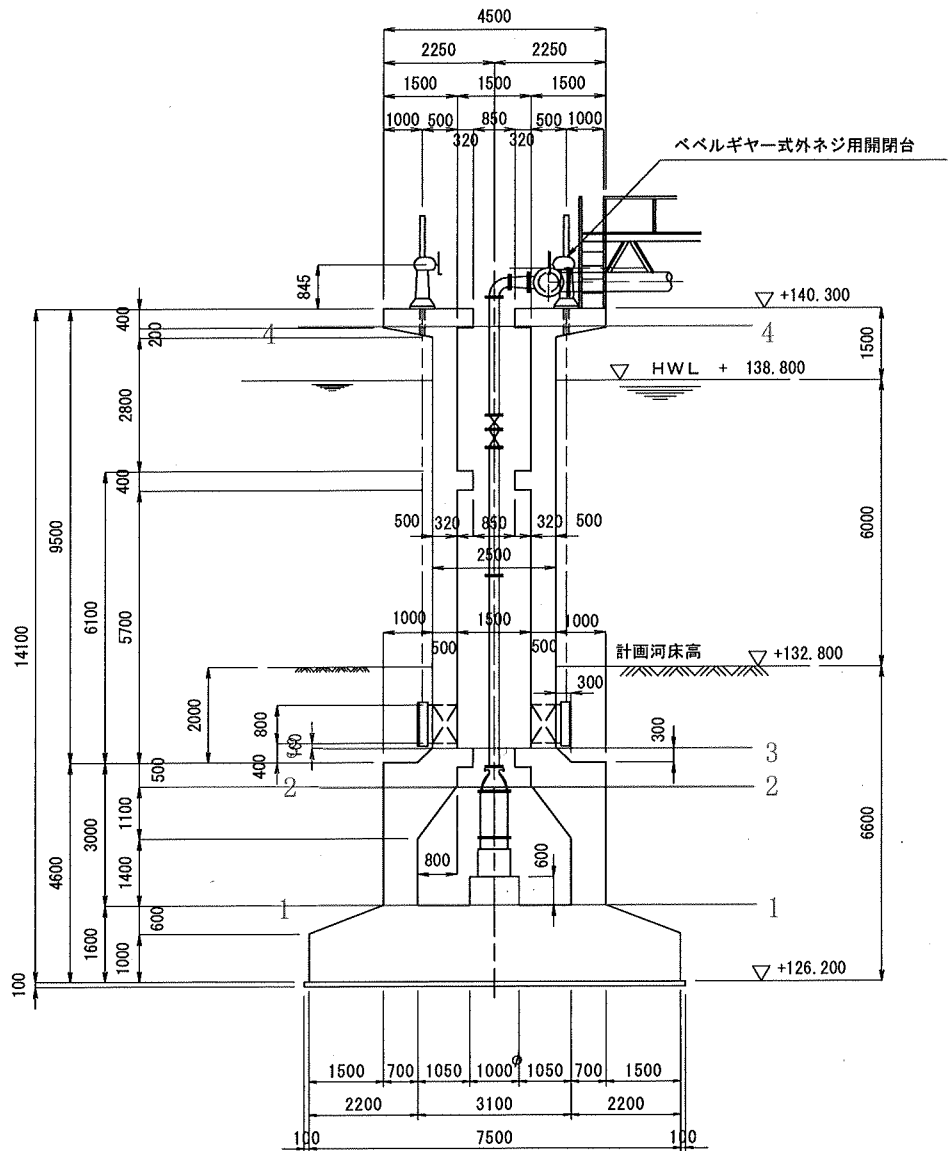
[illegible]

取水塔 取り壊し数量計算書

平面図



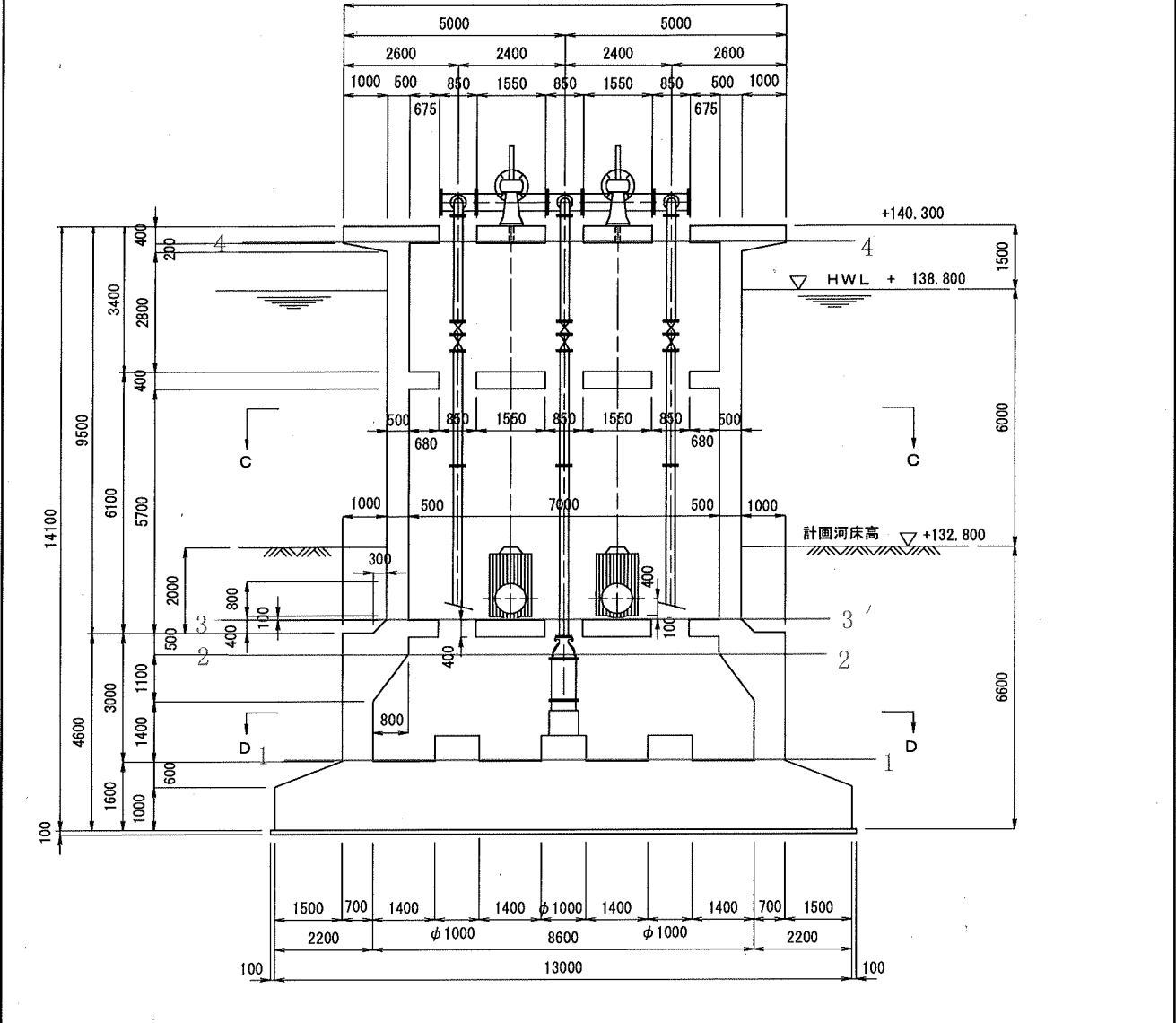
A-A断面図



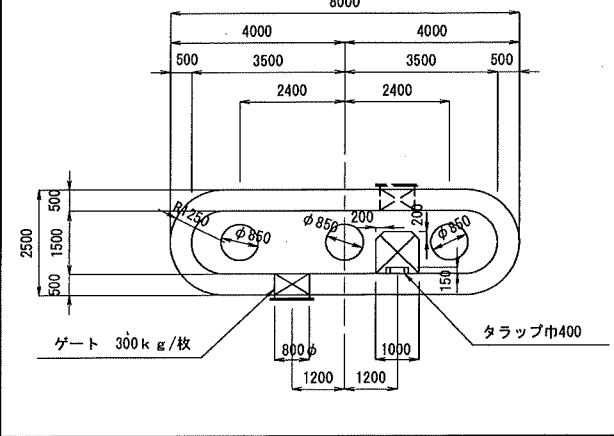
取水塔 取り壊し数量計算書

B-B断面図

10000

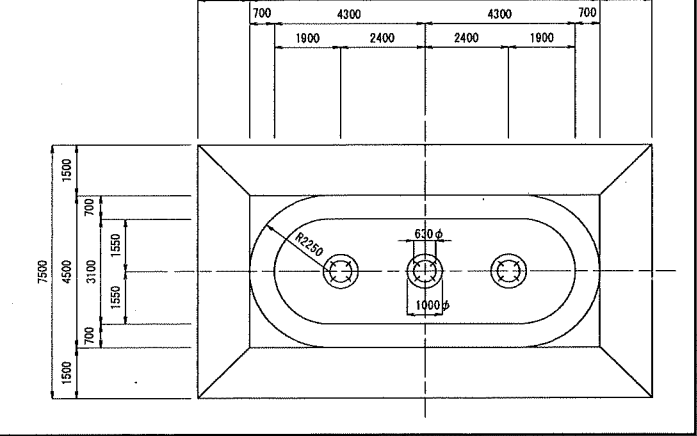


C-C断面图



D—D断面图

The diagram shows a rectangular cross-section. The top horizontal edge is labeled with the dimension 13000. The bottom horizontal edge is divided into three segments: the left segment is labeled 1500, the middle segment is labeled 10000, and the right segment is labeled 1500. Vertical lines connect the top and bottom edges at the boundaries of these segments.



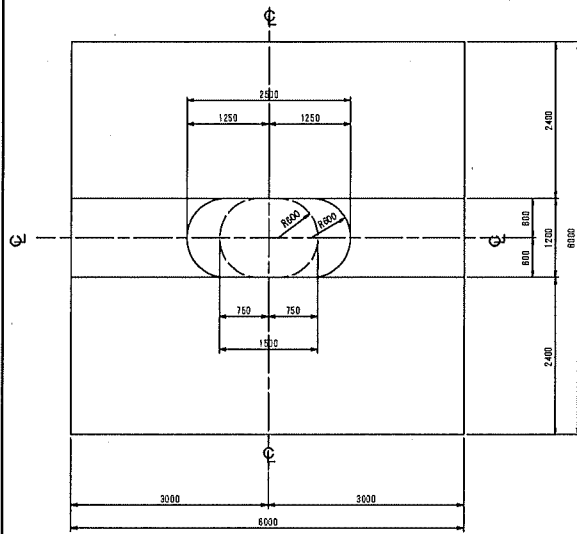
取水塔 取り壊し数量計算書

名 称	規 格	計 算 式	数量	単位	備考
無筋コンクリート					
均しコンクリート		$7.70 \times 13.20 \times 0.10 = 10.164$ ✓	10.16	m3	
鉄筋コンクリート	断面積1-1	$(4.50 \times 4.50 \times \pi \times 1/4 - 3.10 \times 3.10 \times \pi \times 1/4)$			
		$= 8.357$ ✓			
		$(4.50 \times 5.50 - 3.10 \times 5.50) = 7.700$ ✓			
		A1計 = 16.057 m2 ✓			
	断面積2-2	$(4.50 \times 4.50 \times \pi \times 1/4 - 1.50 \times 1.50 \times \pi \times 1/4)$			
		$= 14.137$ ✓			
		$(4.50 \times 5.50 - 1.50 \times 5.50) = 16.500$ ✓			
		A2計 = 30.637 m2 ✓			
	断面積3-3	$(2.50 \times 2.50 \times \pi \times 1/4 - 1.50 \times 1.50 \times \pi \times 1/4)$			
		$= 3.142$			
		$(2.50 \times 5.50 - 1.50 \times 5.50) = 5.500$			
		A3計 = 8.642 m2			
	断面積4-4	$(4.50 \times 4.50 \times \pi \times 1/4 - 1.50 \times 1.50 \times \pi \times 1/4)$			
		$= 14.137$			
		$(4.50 \times 5.50 - 1.50 \times 5.50) = 16.500$			
		A4計 = 30.637 m2			
下部	底版	$7.50 \times 13.00 \times 1.00 = 97.500$			
		$((2 \times 7.50 + 4.50) \times 13.00 + (2 \times 4.50 + 7.50) \times 10.00) \times 0.60 \times 1/6$			
		$= 41.850$			
	A1×1.40	$16.057 \times 1.40 = 22.480$			
	(A1+A2)×1/2×1.10	$(16.057 + 30.637) \times 1/2 \times 1.10 = 25.682$			
	A2×0.50	$30.637 \times 0.50 = 15.319$			
	ポンプ台	$1.00 \times 1.00 \times \pi \times 1/4 \times 0.60 \times 3 = 1.414$			
		小計 = 204.245 ✓		m3	

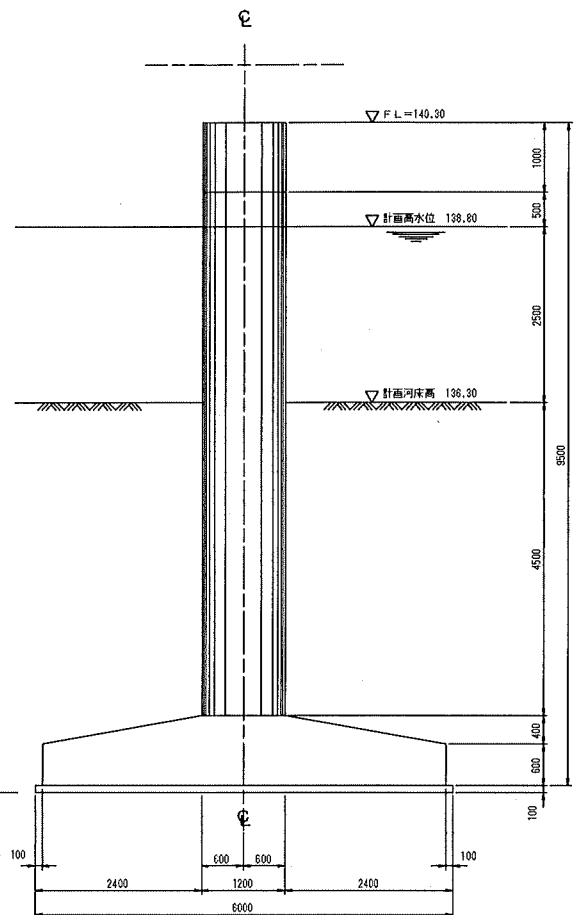
[illegible][illegible]

橋脚 取り壊し数量計算書

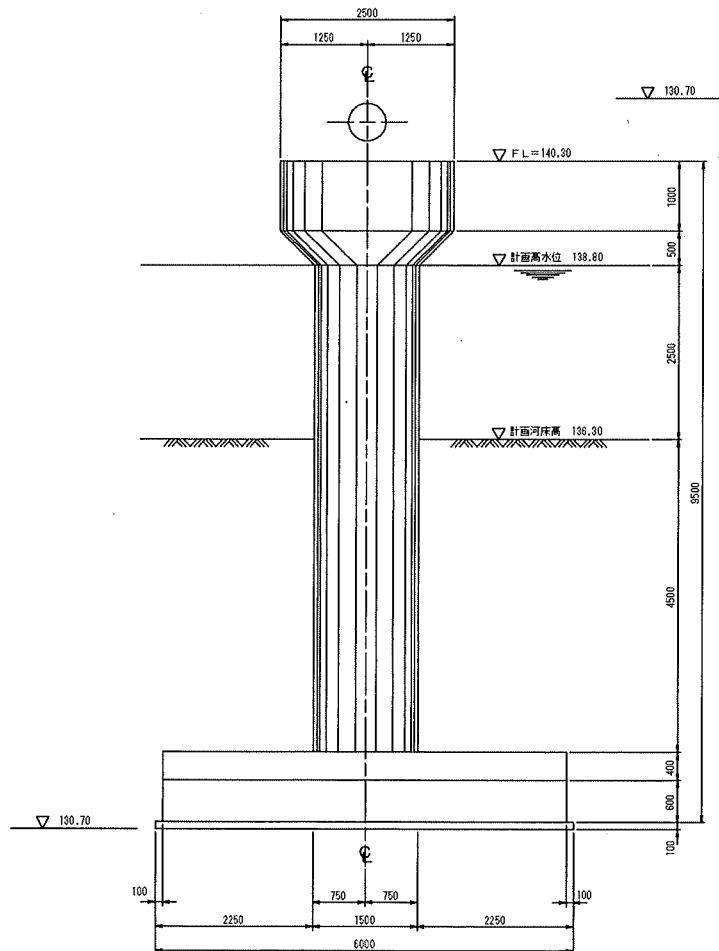
平面図



側面図



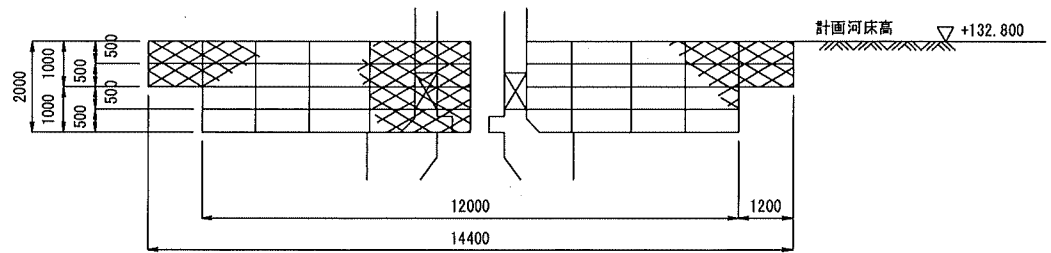
正面図



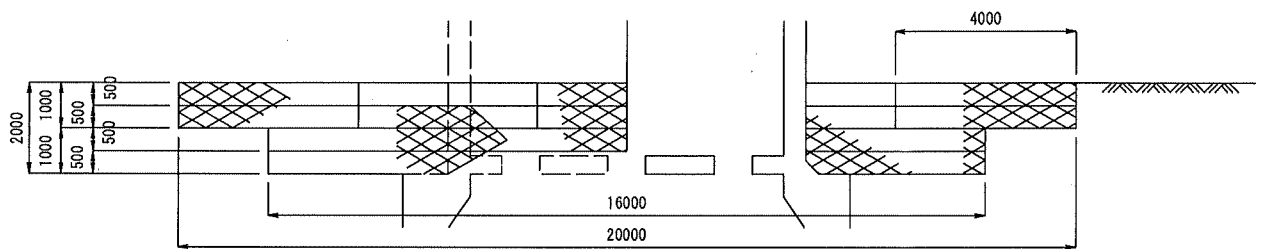
[illegible][illegible]

ふとん箆 取り壊し数量計算書

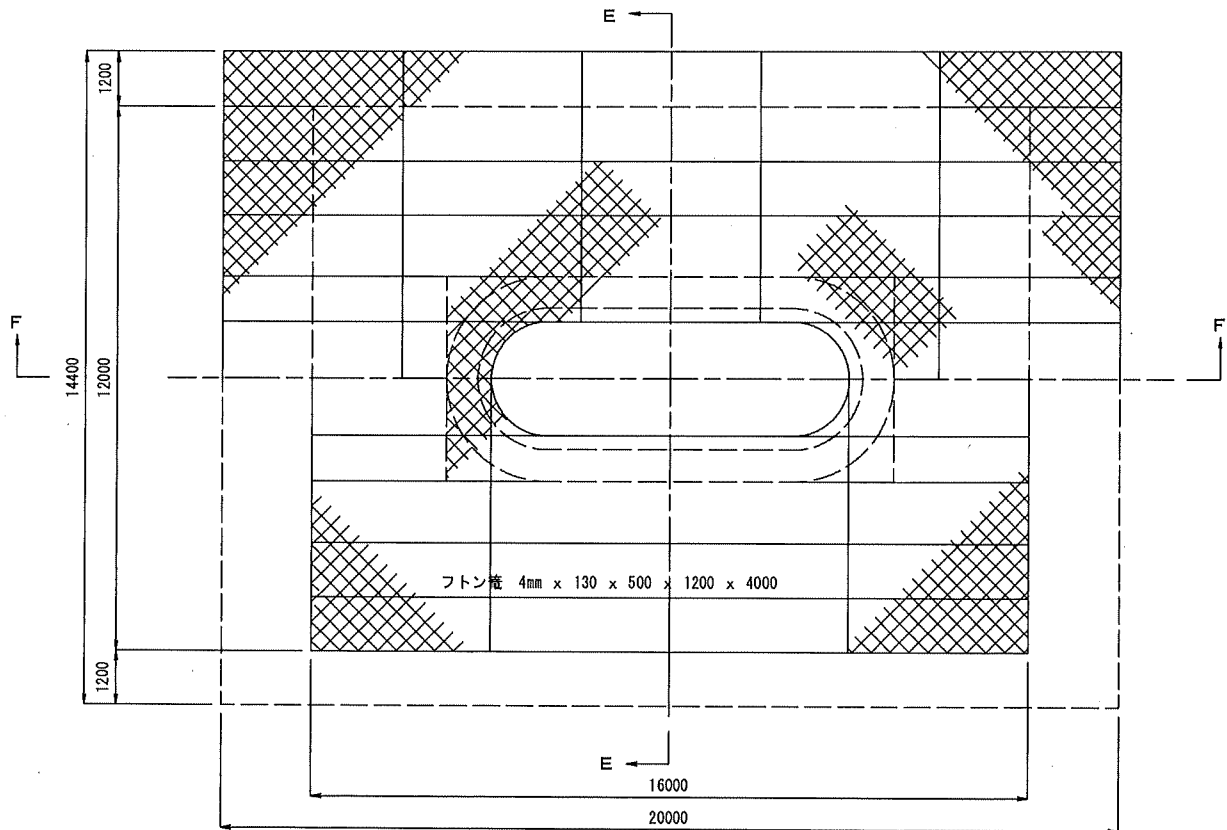
E-E断面図



F-F断面図



平面図



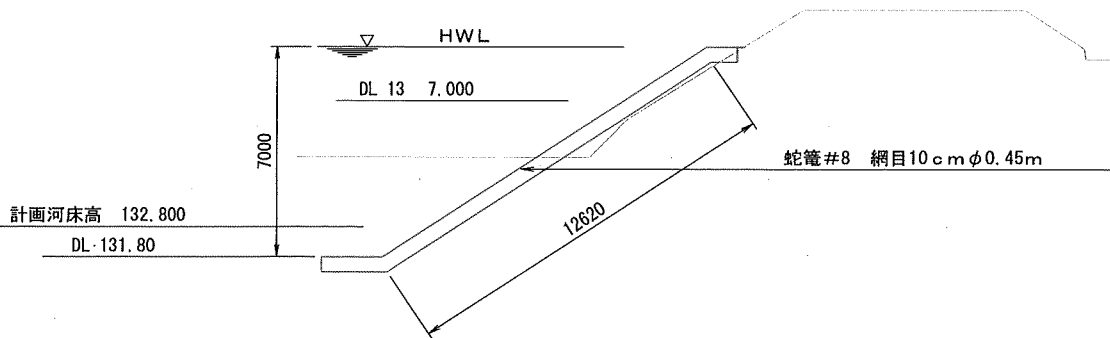
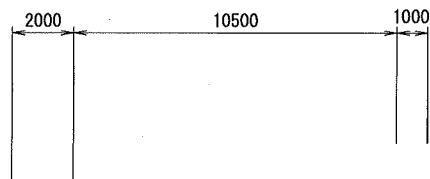
ふとん籠 取り壊し数量計算書

[illegible]

蛇籠 取り壊し数量計算書

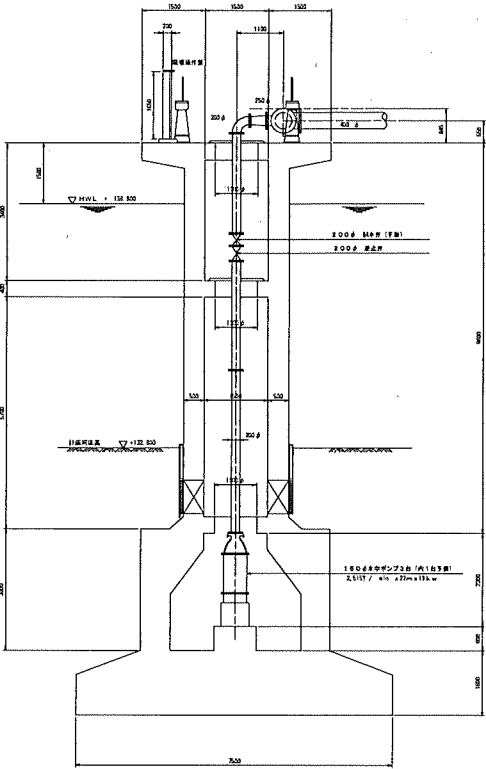
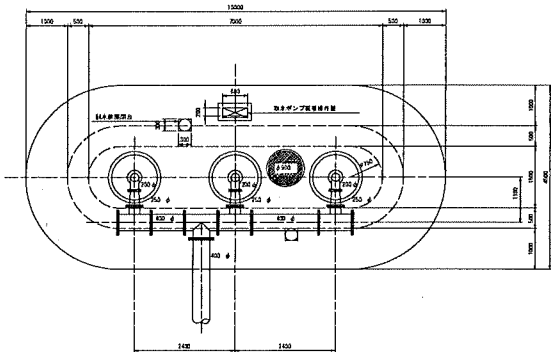


B-B
-5

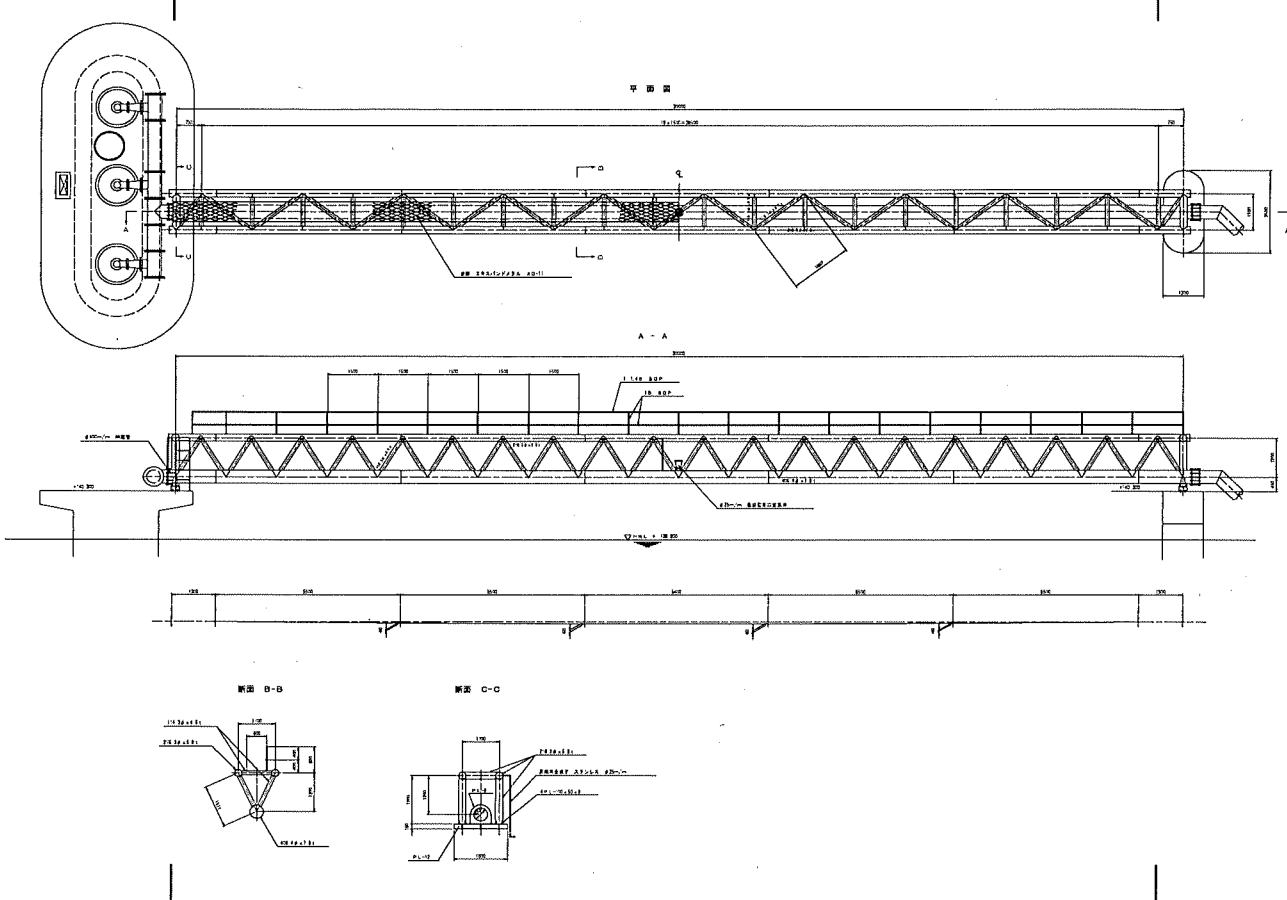


[illegible][illegible]

ポンプ撤去工数量計算

工 種	算 式	数 量
ポンプ撤去工	断面図  平面図  水中ポンプ 2. 515m³/min×22m×18. 5kw φ 150 3 台	1 式

水管橋撤去工数量計算

工 種	算 式	数 量
	 平面図 断面 A-A 断面 B-B 断面 C-C	

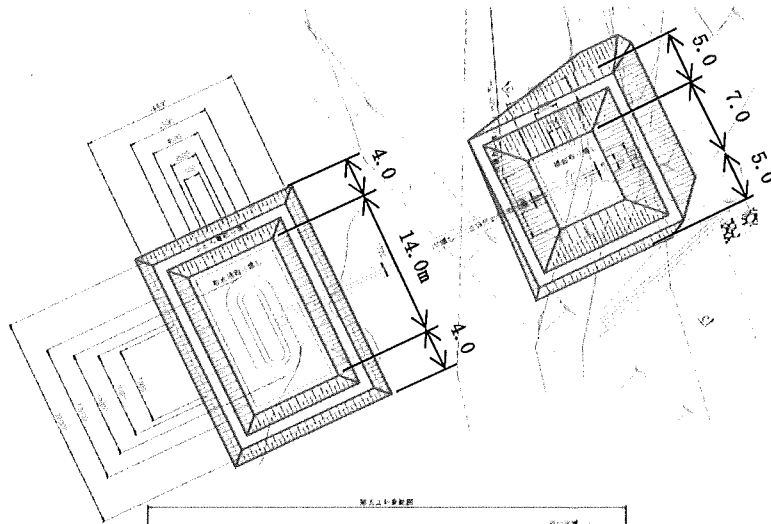
水管橋撤去工数量計算

工 種	算 式	数 量
本 管	呼び径φ400(SGP)厚7.9mm w = 77.6 kg/m	
	W = 30.0 × 77.6 = 2,328.0 kg	
トラス材	φ216.3厚5.8mm w = 30.1 kg/m	
上弦材	W = 29.5 × 30.1 × 2 = 1,775.9	
	φ114.3厚4.5mm w = 12.2 kg/m	
直材	W = 1.86 × 12.2 × 19ヶ所 = 431.1	
斜材	W = 1.33 × 12.2 × 2ヶ所 = 32.5	
	小計 = 463.6 kg	
橋門構	φ216.3厚5.8mm w = 30.1 kg/m	
	W = 1.50 × 30.1 × 2 × 2 = 180.6	
	W = 1.10 × 30.1 × 2 × 1 = 66.2	
	小計 = 246.8 kg	
保安通路	1 ¹ / ₄ (B)SGP w = 3.38 kg/m	
	W = 29.5 × 3.38 × 1 = 99.7	
	1(B)SGP w = 2.43 kg/m	
	W = 29.5 × 2.43 × 1 = 71.7	
	1(B)SGP w = 2.43 kg/m	
	W = (0.80 × 20 × 1) × 2.43 = 38.9	
	小計 = 210.3 kg	
合計重量	W = 2328.0 + 1775.9 + 463.6 + 246.8 + 210.3 = 5,024.6	5.025 t

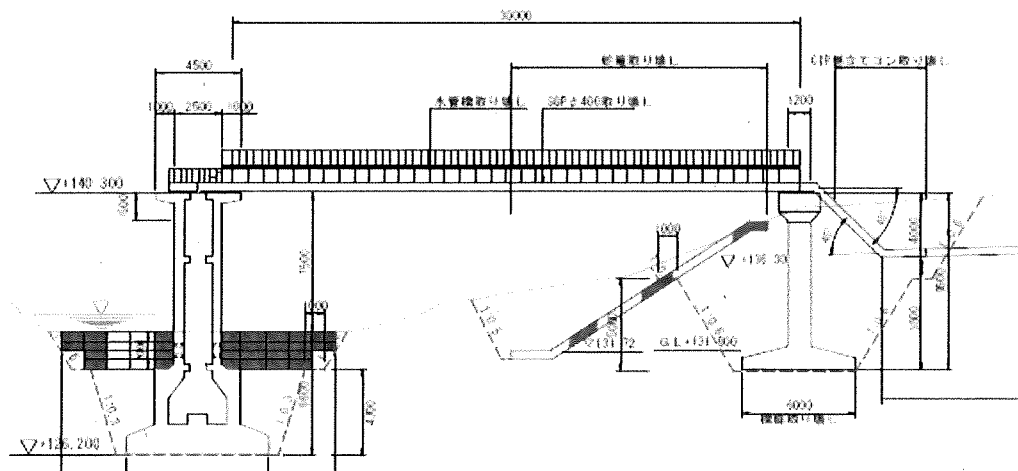
撤去土工数量計算

名 称	計 算 式	単位	数 量
掘 削	底面幅 摺付け長		
	$75.6 \times (14.0 + 4.0) - 337.0 = 1,023.8$		
	底面幅 摺付け長		
	$98.2 \times (7.0 + 5.0) - 60.0 = 1,118.4$		
	合計 = 2,142	m ³	2,100
埋 戻 し	底面幅 摺付け長		
	$75.6 \times (14.0 + 4.0) = 1,361$		
	底面幅 摺付け長		
	$98.2 \times (7.0 + 5.0) = 1,178$		
	合計 = 2,539.2	m ³	2,500
補 足 土	$(2,500 - 2,100) / 0.9 = 444.4$	m ³	440

平面図



横断面図



取水塔

掘 削	砂 礫	75.6m2	掘削部コンクリート体積	337.0m3
-----	-----	--------	-------------	---------

橋 脚

掘 削	砂 礫	98.2m2	掘削部コンクリート体積	100.9m3
-----	-----	--------	-------------	---------

進入路工撤去数量計算書		
名 称	計 算 式	数 量
		N=1式
盛土撤去	数量計算書 進入路工 数量計算書より $V = 20.1 \times 4.0 =$	80.4 m3
敷砂利撤去	数量計算書 進入路工 数量計算書より $A = 3.00 \times 75.2 =$	225.6 m2

沈砂池工数量計算書

名 称	計 算 式	数 量
大型土のう (製作・据付・撤去)	$N = 44$	44 袋
中詰土 (在来土)	$V = 1.00 \times 44$	44.0 m ³
現場発生品運搬	運搬質量 44 × 1.8 kg/袋 = 79.2 kg	
	運搬回数 2 t トラック	1.0 回
建設廃材受入料金		
	廃プラ 44 × 0.04 m ³ /袋 = 1.8 m ³	1.8 m ³
コルゲート パイプ (φ600)	$L = 16.00 \text{ m}$	16.00 m